

2020年7月27日

安倍政権の今をどう見るか
市民と野党がたたかう新しい道

上智大学 中野晃一

安倍政権はどういう状態にあるか

そもそも安倍政権とは？「日本を、取り戻す。」の実態とは？

「経済と安保で対米追随を進め、米国の許容する範囲の歴史修正主義で憂さを晴らす」

アベノミクス、武器・原発輸出、働き方改革、入管法改正、カジノ、オリンピック

日本版 NSC、特定秘密保護法、集団的自衛権行使の容認、武器爆買い

2016年参議院選で衆参両院 2/3 を確保も、市民と野党の共闘が許さなかった明文改憲

2017年からの長い「安倍政権の終わりの始まり」＝漂流状態、「他にいない」だけ

「私物化」スキャンダルを隠そうと新たなスキャンダルを生む連鎖

コロナ禍でいよいよ行き詰まった安倍政権

桜を見る会、河合夫妻、カジノ汚職、検察官部定年延長など

もともと国民の不幸や災害に驚くほど興味関心がない政権体質を露呈

緊急事態宣言を悪用できないほどに深刻な経済危機

全方面で行き詰まる「安倍外交」

コロナ禍で高まる国民の政治意識

保守の危機を「改革保守」で救おうとする策動

市民と野党の共闘が切り拓く新しい道は

安倍政権だけでなく、「三つ巴」の現実を直視したたたかいを

「守る」だけでは不十分（「守る」ことは必要だが）

野党結集のキーワードは常に「生活」

新自由主義と訣別し、「新しい公共」をつくる

「生活を支える、新しい公共を今」